

▲▲▲ 八ヶ岳 西岳 ▲▲▲

報告：F野

◎期日：2022年10月20日（木）

◎メンバー：F野（L）、S. S.、M. S.

「紅葉が愛でられ、高齢者にも無理なく登れ、標高がそこそこあって、静かで、日帰りできる山は？」この欲深い難題？を検討した結果、「八ヶ岳の西岳」に決定。

小淵沢 IC を目指して中央道をルンルンと車を走らせたが、境川 PA を過ぎた辺りで工事渋滞にひっかかり、思わぬ時間をロスしてしまった。これをカバーするため平日なので許されるだろうと、富士見高原の駐車場を素通りして、ゲートの少し手前まで入って駐車した。

登山届の投函 BOX はゲートを通ったところにあり、ここに持参の届を投函してスタートした。Mさんを先頭に、Sさんそして小生の順でルンルンと行く。

林道の工事があり一部迂回路を歩くが、間もなく「不動清水」に到着した。元気な女性二人はすぐに出発したが、小生はザックを降ろしゆっくり一本立てた。

細く流れ落ちる清水のそばには「長命水」と書かれた札が立っていた。頂くと、冷たくて美味しかった。

不動清水は編笠山方面と西岳方面との分岐でもある。ひとりで編笠山～西岳と周回縦走したときは、ここから編笠山方面に向かった。あれはいつ頃だったか？・・・

「3年前の12月、チェーンアイゼンのテスト山行」であった、と思い出して腰を上げた。これより登山道らしくなる。途中で何度か林道を横切りながら高度を上げていく。苔が一面に広がっていて、土が見えないほどだ。

鹿や、ちょろちょろ動くリスも見た。こんなに下界に近いところでも深山のような雰囲気、とても気持ちが良い。



（不動清水・長命水の札）



（左：樹林の地面は緑の苔に覆われていた、右：静かな樹林の中の本道。いずれも下山時に撮影）

やがて「小広場 2138m」に到着した。ここでも一本立てる。腰を上げ歩きはじめると大きなザックを担ぎ、アウターを着た数名のパーティが降りてきた。挨拶をして話をすると、「昨日、観音平から登ってきて青年小屋に泊まった。今朝は氷点下であった、・・・」等々と聴く。下から登ってきた我々のアウターはザックの中。やはりこの時期、上部の早朝は寒かったのだ。

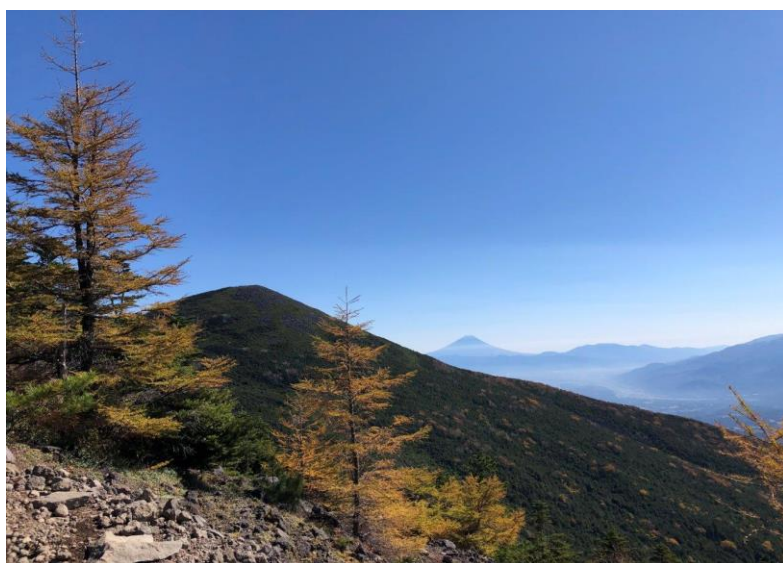
道が少し急になると視界が開け、編笠山とその向こうに富士山が見えだした。そして間もなく、西岳の山頂 2398m に到着した。

山頂は無風、快晴！ アウター無しでも寒くもない。珍しいくらいの好天気気分は爽快。お二人とも「晴れ女」だそうで、ニコニコと嬉しそうだ。この好天気はお二人の霊験か？ 編笠山はすぐ前で大きな山容だ。その右に綺麗な富士山。そして南アルプス・・・。正に絵になる。

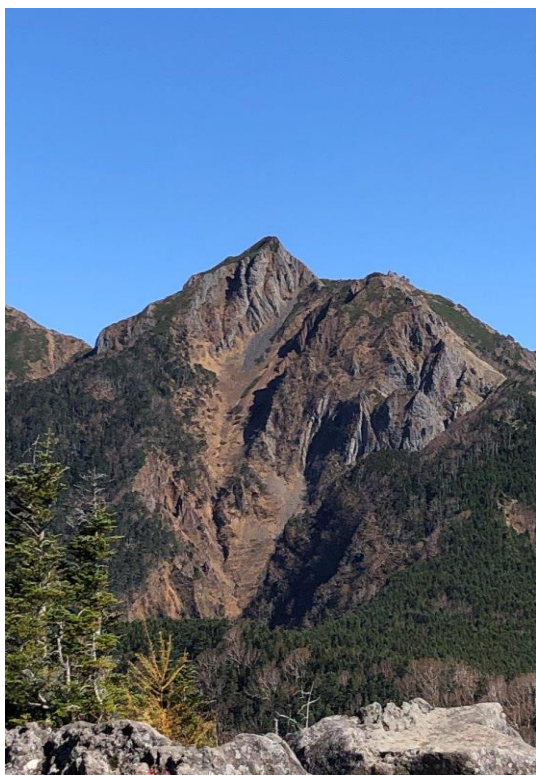
東に目を転じると、ピラミッドのような大きな三角錐のように見える「ギボシ」。その右にお気に入りの山のひとつ「権現岳」が見えるが、まったく目立たない。西岳からは分かりにくく残念。左は旭岳か？ 赤岳、阿弥陀岳などは樹林に遮られている。もっと先に行けば見えるところがあるかも知れないが、ここまでとする。それにしてもギボシは魅力的に見える。



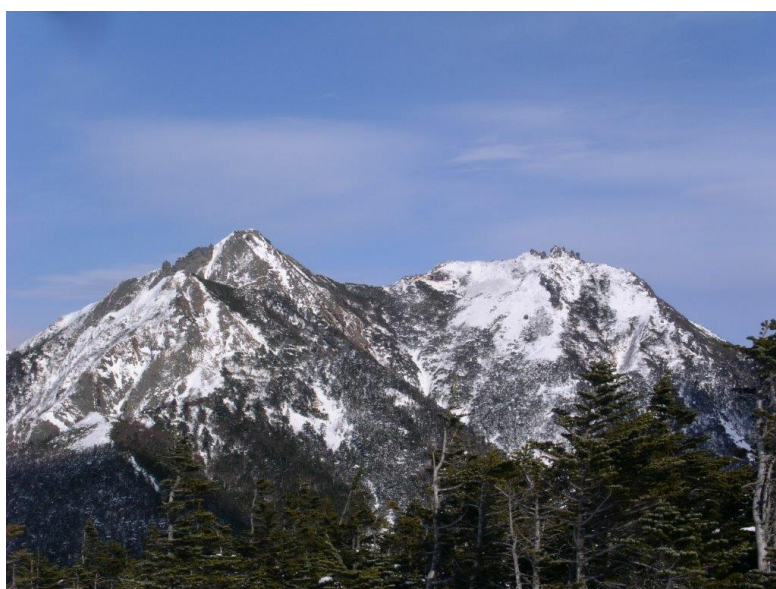
(西岳山頂にて)



(西岳山頂からの編笠山と富士山)



(ピラミッドのようなギボシ。
その右は権現岳だが目立たない)



(参考写真：編笠山からのギボシと権現岳。撮影位置が違うと、
ギボシと権現岳も違う山のように見える。2009. 12. 13
編笠山より撮影)

随分昔、編笠山～権現岳～赤岳～硫黄岳を権現小屋に一泊して縦走したことがあった。縦走路はギボシのピークは通らず、山腹を行く鎖のトラバースであったと思うが、ギボシを見つめると、あのピークにもいつの日か立ってみたいと思った。昼食後もゆっくり眺望を楽しんで、下山開始とした。

紅葉と緑の苔の絨毯に歓声をあげながらゆっくりと下った。降り立った不動清水ではまたまた「長命水」をいただいた。一息ついた時、観音平付近には「延命水」があったことを思い出した。また小淵沢の道の駅あたりに「延命の湯」があった。何だかこの山域は長生きしたい高齢者向きなのかもしれない。

<当日のコースタイム>

登山口のゲート	9:10
不動清水	9:30
小広場・2138m	11:40
西岳 2398m	12:30～13:25
小広場・2138m	13:55
不動清水	15:20
登山口のゲート	15:35

(了)